



テーブルやイスを作製 吉田 耕一さん

保育所に納めたテーブルとイスは村産の無垢材で製作しました。時代とともに『あじ』が出てきます。自分たちが使用したテーブルやイスは愛着がわきますよね。子どもたちが大人になって保育所を訪れたとき、これらの使用していた家具等を見て保育所で過ごした時代を思い出してくれると嬉しいです。



保育室（4・5歳）



新占冠保育所運用開始

室内は陽光が入りやすい設計で、明るさが感じられます。広場は木のぬくもりに包まれたやさしい空間になっています。



導入された2台の薪ボイラー。主に村産の薪を使用します。



交流コーナーは子育て世代への相談や支援、各種交流や催しなどで活用予定です。



登ってみませんか？



占冠保育所の概要

敷地面積 2,610㎡
仕様 木造 平屋建
薪ボイラーを2台導入。
アカエゾマツ・シナ・タモなどの占冠村産木材を使用。
定員 40人

村産木材の種類

針葉樹 アカエゾマツ・トドマツ
広葉樹 ナラ・セン・タモ・カバ・ニレ・シナ・クルミ・サクラ・イタヤカエデ・ハン・シラカバ・ナナカマド・キハダ

クライミングウォール等を作製 長谷川 勘太郎さん

クライミングウォールの木製ホールドは、一つひとつが手作りでそれぞれ形も異なり、木が本来持つ『野性味』や『ぬくもり』が伝わりやすい加工をしています。指先から伝わる木の感触が子どもたちにとって良い刺激になればなあと思います。

令 和元年6月に着工した新占冠保育所の新築工事（総建築費3億7383万円）が令和2年3月に完了し、本年4月より運用を開始しました。旧占冠保育所は、中央地区の子育て拠点として、50年以上に渡り、多くの地域の皆さんに利用されてきました。占冠保育所として活用される前は、『占冠村 母と子の家』として、地域住民の集いの場など多目的に利用されてきた施設でもありました。新しい占冠保育所は、保育ニーズの多様化に対応するため、未満児保育や給食提供にも対応できる施設です。



新たに設置された交流コーナーは、子育て世代への相談・支援だけではなく、各種交流や催しなど、地域の子育て拠点として幅広く活用される予定です。交流コーナー等に設置されている子ども用のイスやテーブル、クライミングウォール・ホールドは、村内在住の職人によって作製されました。園庭にはたくさんのお木を植えており、数年後には森の中のような環境が整う予定です。建設資材には、村産木材を一部の床や壁・天井のトラス・サッシ・家具等に使用しており、木のぬくもりに包まれた空間となっています。また、CO2の排出削減など、地球環境に優しい薪ボイラーを2台導入しました。使用する薪の原料は、主に村有林から調達されます。保育所で使用する薪はすべて占冠村木質バイオマス生産組合で製造されるものであり、エネルギーの地域循環による経済効果が期待されます。新占冠保育所は、『薪』を通して『循環型エネルギー』について、体感・学習できる施設となっています。